

バックボードをファブリックに昇華  
運搬の簡便性はそのままに高品質化

株式会社 ベルアドワイズ



- ① シリコンリブを採用し、従来品をファブリックシステムに進化。
- ② 専用のキャスター付きバッグも用意し、運搬の簡便性を考慮。
- ③ Harry の施工例。写真は片面（H2250×W2250×D340mm、サイドなし）タイプ。このほか片面（サイドあり）タイプ、両面タイプも用意。

各種広告資材販売の㈱ベルアドワイズは、販促・広報用バックボードにシリコンリブを採用した上位モデルの「Harry（ハリー）」を11月から販売。美容、化粧品、アパレルなどのキャンペーンやイベントをターゲットに、一層の購買層拡大を図っている。

新製品は、従来のマジックテープを縫製し本体固定する方式ではなく、ファブリックならではのシリコンリブをアルミの溝にはめ込む仕様を採用。スクリーンの防災厚手クロスにテンションをかけることで、よりクオリティの高い展示を実現した。両面へのグラフィック掲出も可能。キャスター付専用バックへのコンパクト収納もでき、持ち運びの簡便性に優れる。

同社では今年の販売目標として200台を掲げる。担当者は「新たなHarryをベースに、連結部材や電材をオプション化することで、より多彩なニーズに対応したい。従来の広報・販促用途以外の展示会ブースやイベントにも応用できるシステムバナーとしてシリーズ展開していきたい」と話す。